４．５ 補強案の構造性能評価

以下に性能評価結果を示す。補強後の性能については、補強案②(1B+2B)：鉄骨フレーム補強 ＋鋼製ブレース補強の解析結果を記載する。

木造架構の性能評価

性能に関する項目			補強後の目標値	階	現況の性能		補強後の性能	
					東西方向	南北方向	東西方向	南北方向
偏心率			0.30 以下	二重	0.001	0.003	0.015	0.021
				初重	0.043	0.001	0.175	0.091
大地震動時	層間変形角	平均	1/20 以下	二重	—	1 / 10	1 / 29	1 / 33
				初重	—	1 / 192	1 / 53	1 / 70
		最大	1/15 以下	小屋		1 / 18	1 / 22	1 / 25
				二重	—	1 / 5	1 / 22	1 / 24
				初重	—	1 / 200	1 / 37	1 / 57
	柱の耐力確認		終局耐力以下	初重	—	降伏しない	降伏しない	降伏しない
	保有耐力(Q/WZ)		－		—	0.057	0.101	0.135
風中程度	層間変形角	平均	1/20 以下	二重	1 / 64	—	1 / 269	1 / 188
				初重	1 / 130	—	1 / 308	1 / 209
	柱の耐力確認		終局耐力以下	初重	降伏しない	—	降伏しない	降伏しない
風大規模	層間変形角	平均	1/20 以下	二重	1 / 29	—	1 / 145	1 / 112
				初重	1 / 50	—	1 / 144	1 / 109
	柱の耐力確認		終局耐力以下	初重	降伏しない	—	降伏しない	降伏しない

表中 — は応答値が無く、層間変形角・柱降伏状態共に算定できない旨を示す。

補強により、構造性能に関する各項目について目標値を満足することを確認した。